

本町名誉町民として 故香月泰男氏を推挙

9月定例町議会において故香月泰男画伯に対し、三隅町名誉町民条例第2条の規定により全員一致で名誉町民の称号を贈ることが決議されました。

故香月画伯は、シベリア抑留体験をテーマにした「シベリア・シリーズ」を発表、戦後の日本近代美術史に代表される画家として活躍され、また身近なテーマを诗情豊かに扱う作家としても知られています。

また香月画伯は、ここが「私の地球だ」と云って三隅町をこよなく愛し、郷土三隅町を離れることなく創作活動に情熱を燃やし続けられ、わが国の文化発展向上に貢献されたのみならず、郷土の誇りとして、この度の推挙となりました。

なお、10月25日の町立香月美術館竣工式並びに開館式において、推挙状並びに名誉町民章が香月家に贈呈されます。



〔香月泰男・略年譜〕

- 1911 10月25日、山口県大津郡三隅町久原に生まれる。父・貞雄、母・八千代
- 1931 東京美術学校油絵科に入学。藤島武二氏の教室に学ぶ。
- 1934 「雪降りの山陰風景」国画会に初入選。
- 1936 東京美術学校卒業。北海道・倶知安中学校教諭となる。
- 1938 山口県立下関高等学校教諭に転任。藤家婦美子と結婚。
- 1939 梅原龍三郎、福島繁太郎両氏の知遇を得る。「兎」第三回文展特選。
- 1940 国画会第15回展で佐分賞を受賞。国画会同人に推挙される。
- 1943 山口西部第4部隊入隊。満州興安北省ハイラル地区第19野戦貨物廠営繕係に配属。
- 1945 日ソ開戦、安東で武装解除、シベリア鉄道でクラスノヤルスク地方のシラへ。トラックでヤーセ収容所へ。森林伐採作業に従事。
- 1947 シベリア鉄道でナホトカへ。引揚船・恵山丸で舞鶴へ。復員。下関高女に復職、制作活動を再開。
- 1948 大津高等学校(旧・大津中学)に転任、下関から三隅町生家へ、シベリア・シリーズの第一作
- 「雨(牛)」と「風」を国画会に。
- 1951 「白木蓮」ロックフェラー夫人に買われ、初めて作品が海外に。
- 1955 マチエルに方解末を用いた独特の黒の作品が生まれる。
- 1956 「ヒューザンス」がメルボルン近代美術館に收藏される。
- 1958 欧州巡回日本現代美術展に近作数点を送る。
- 1959 西日本秀作美術展で第2席賞、中国新聞文化賞を受賞。
- 1960 教員生活をやめ、創作に専念する。
- 最大の理解者であった福島繁太郎氏死去。
- 1961 東京・日本橋高島屋で「香月泰男展」開催。「埋葬」以降の作品52点を陳列。
- 1963 「久原山」文部省に收藏される。
- 1966 ジャパン・ソサエティ(ニューヨーク)の招待で夫妻で渡米。
- 1967 画集「シベリヤ」(求龍堂)発刊。東京・銀座松屋で香月泰男展「戦争・推因・人間愛」
- 1968 西日本文化賞受賞。
- 1969 新潮芸芸振興会の第一回日本芸術大賞を「シベリヤ・シリーズ」で受賞。
- 東京・高島屋で1958年以来制作のオモチャ30点を公開。
- 1970 東京芸術大学非常勤講師を委嘱される。
- 1971 安井賞選考委員を委嘱される。タヒチ島取材旅行。
- 1972 ギリシャ、スペイン、モロッコ、カナリヤ諸島へ取材旅行。
- 1973 タヒチ、ニース、コルシカ、ノルマンディー、セーシェルズ、モーレンシャス、レユニオン、スリランカへ取材旅行。
- 1974 3月8日、心筋梗塞のため自宅で急死。
- 勲三等瑞宝賞受賞。
- 遺作による香月泰男展、東京・大阪・名古屋で開催。シベリヤ・シリーズ作品、山口県に寄贈。